

美濃焼の“これから”を考えます

陶磁器試験場(☎59)8312)

漆と陶器の、素敵なお会い。

今月は、漆を使った新しい陶器、『筒型酒器』、『中塗り高台盃』を紹介します。



陶器の持つ重厚な質感に漆の伝統的な深い味わいを組み合わせ合わせた「漆陶」。漆風の陶器は数多く存在するが、この器は「本物」。試行錯誤の6年を費やし、たどり着いたのは、陶器に漆を密着させるために下地を含め5回塗って仕上げる独自の製法。「手間は掛かっても本物を提供したい」。そんな思いが「漆陶」を生み出す原動力となった。

その色合いは艶やかな黒の漆に朱を塗り重ねる「根来塗り」を行うことで、深みのある色合いとなっている。さらにその朱を研磨し、ほんの少しの黒地を見せることで味わいを引き立たせている。

日本の伝統的な雰囲気を感じながら、酒を楽しむことができる『筒型酒器』。漆と陶器、素敵なお会いを果たした二つはこれからどんな器になっていくのだろうか。今後の「漆陶」から目が離せない。

TOTTOKI作品は陶磁器試験場で
展示しています。

『筒型酒器』
『中塗り高台盃』

宗山窯(駄知町)
若尾洋造 さん



市長の部屋から

2月26日(日)

「第38回土岐市消防団活動写真コンクール」の表彰式が、土岐市北防災センターで行われ、57点の応募の中から選ばれた皆さんに表彰状が授与されました。



このコンクールは、我々市民にとって非常に重要な組織である消防団の活動を広く知ってもらうこと、そして防火や防災に対する意識を高めていただくことを目的として実施しています。

今回のコンクールでは、高校生を含む幅広い年代の方々が賞を受賞されました。ここにいらっしゃる皆さんをはじめ、消防団の熱烈なファンがたくさんみえることを非常にうれしく思います。

皆さんの撮られた写真が、消防団の活動を広く周知する助けとなっています。今後もより多くの方に出品いただき、引き続き消防団活動を盛り上げていただけることを願っております。



土岐市長 加藤靖也